ごみ排出量（令和4年度）

生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画と削減目標

令和3年6月に策定した生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では、令和元年度を基準として、令和12年度までに家庭系ごみ排出量を10.8%削減、事業系ごみ排出量を10.5%削減することを目指します。さらに人口減少による4.6%の自然減を足して、市全体のごみ排出量を15.3%削減する目標を定めました。

家庭系・事業系ごみ排出量実績

以下の表は、基準年度となる令和元年度から令和4年度までの家庭系・事業系ごみ排出量実績と、生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画最終年度となる令和12年度の目標排出量を表しております。

全体のごみ排出量は前年度比で減少しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大時期に行われた巣ごもり時の大掃除が一段落したことや、記録的な物価の高騰による消費者行動の変化等が影響したと考察します。

（単位：ｔ）

	実績				目標	令和元年度からの削減率			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和12年度	令和2年度/令和元年度	令和3年度/令和元年度	令和4年度/令和元年度	令和12年度/令和元年度
人口	119,281	118,621	118,139	117,629	114,078	－	－	－	－
ごみ排出量	33,780	33,601	33,796	32,461	28,610	0.5%	▲0.0%	3.9%	15.3%
家庭系ごみ排出量	24,759	25,342	24,947	24,077	20,951	▲2.4%	▲0.8%	2.8%	15.4%
事業系ごみ排出量	9,021	8,259	8,849	8,384	7,659	8.4%	1.9%	7.1%	15.1%

循環型社会を形成する「5R」の取組

今までの「3R」に新たな2つの「R」（リフューズ、リペア）を加えた「5R」の基本理念のもと、食べ切れる分だけの購入や、いらなくなった食器の回収など、ごみ減量の取組を推進していきます。

Refuse（リフューズ)断る　：ごみになるものを断ること
Reduce（リデュース)発生抑制　：ごみを発生させないこと
Reuse（リユース)再使用　：ものを繰り返し使うこと
Repair（リペア)修理　：ものを修理して使うこと
Recycle（リサイクル)再生利用　：資源として再生利用すること